

第19回 飛騨高山

ヴァルトーンズ オーケストラコンサート

モーツァルト「魔笛序曲」
ハイドン「交響曲第95番」
シューマン「交響曲第2番」

2024 **3.31**日 開場 13:00
開演 13:30

飛騨・世界生活文化センター(飛騨芸術堂)

チケット

- 指定席 3,000円
 - 自由席(一般) 2,000円
 - 自由席(小・中・高校生) ... 1,500円
- 2024年1月31日(水)9:00から発売



座席表

※座席表は飛騨センターのホームページ
(<http://hida-center.jp/>)からご確認いただけます。
※未就学児の入場はできません。

プレイ ガイド

- 飛騨・世界生活文化センター(☎0577-37-6111)
- 高山市民文化会館
- コサカ楽器(本店・カルパティオ店)

無料バスのご案内

12:30/高山駅西口(白山口)発 → 飛騨センター
終演後/飛騨センター発 → 高山駅西口(白山口)

※定員になり次第、乗車終了となりますのでご了承ください。

【主催】飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会(岐阜県・高山市・飛騨市・下呂市・白川村)
【協力】名古屋芸術大学、飛騨高山ヴァルトーンズオーケストラ運営委員会(飛騨吹奏楽研究会、高山市民吹奏楽団、地元住民有志 他)



※出演者・曲目は
予告なしに変更することが
ありますのでご了承ください。



飛騨・世界生活文化センター
HIDA EARTH WISDOM CENTER

〒506-0032 岐阜県高山市千島町900-1
TEL.0577-37-6111 | <http://hida-center.jp>

飛騨高山ヴァルトーンズ
オーケストラの最新情報は
hidadivirtuosos.com



飛騨高山ヴィルトーゾオーケストラ

飛騨高山ヴィルトーゾオーケストラの公式サイトはこちら
<https://hidavirtuoso.com/>



飛騨に縁のある超一流演奏家を中心となり誕生したプロフェッショナルオーケストラ、それが「飛騨高山ヴィルトーゾオーケストラ」である。メンバーは、地元飛騨出身の演奏者、飛騨に縁のある演奏者、そして何よりも飛騨をこよなく愛する演奏者で組織されている。当初より指揮者を置かないスタイルで、演奏家の魂のぶつかり合いとも言える名演を数々残す。オーケストラ編成の他、弦楽・木管・金管・打楽器の各アンサンブルコンサートや、日本舞踊・和太鼓・ミュージカルダンスとのコラボレーションコンサートなど新しい試みにも挑戦し続けている。また、メンバーによる学校でのミニコンサートや、飛騨で吹奏楽を学ぶ学生への指導など、地域に密着した演奏活動も展開している。コンサート音源を収録した作品は「日本プロ音楽録音賞」で大賞を受賞するなど、その演奏は高い評価を受けている。「おらがまちのオーケストラ」として益々の活躍が期待される。



ソロ・コンサートマスター
荒井 英治

日本センチュリー交響楽団 首席客演コンサートマスター
 名古屋フィルハーモニー交響楽団 首席客演コンサートマスター
 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 特別客演コンサートマスター
 東京音楽大学 教授

1957年生まれ。桐朋学園大学卒業。ヴァイオリンを鈴木共子、江藤俊哉の各氏に師事。1971年、全日本学生音楽コンクール中学校の部東日本第2位。1973年、同コンクール高校の部全国第1位。1979年から新星日本交響楽団、1980年から東京交響楽団、1989年から2015年までは東京フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターを長きわたり務める。2005年1月16日、飛騨高山ヴィルトーゾオーケストラの旗揚げ公演『ニューイヤークンサート』において、メンバーからの絶大な信頼のもとコンサートマスターを務め、観客を魅了した。飛騨高山ヴィルトーゾオーケストラの立ち上げ時よりの中心メンバーである。現在、日本センチュリー交響楽団首席客演コンサートマスター、東京音楽大学教授。



チェロ
金木 博幸

東京フィルハーモニー交響楽団 首席

札幌生まれ。1979年桐朋学園高校音楽科卒業。同年、日本音楽コンクール第2位入賞。翌年、東京国際音楽コンクール第1位入賞。霧瀨秀雄賞受賞。上原与四郎氏、青木十良氏に師事。81年に渡独。ティボー・ヴァルガ氏との二重協奏曲共演で好評を博す。84年北西ドイツ音楽大学首席卒業。ウィーン・フィル首席チェリスト、エマヌエル・ブラベツ教授のもとで3年間研鑽を積み、室内楽をバリ弦楽四重奏団、アマデウス弦楽四重奏団に師事。ダニエル・シャフラン教授、ミラノ・スカラ座首席チェリスト：アントニオ・ボカテラ教授にも師事。シュトゥットガルト国際チェロコンクール最高位入賞。スイス南部ルガーノ放送響メンバーとして活動。91年東京フィルハーモニー交響楽団首席チェリストに就任し現在に至る。オーケストラプレーヤーとしての活動に加え、各地でのリサイタル等、ソリスト、室内楽奏者としても多彩な活動を展開し高い評価を得ている。



トランペット
栃本 浩規

東京藝術大学 教授

岐阜県高山市出身。斐太高等学校卒業。名古屋芸術大学音楽学部卒業。トランペットを、(故)和久田照彦、津堅直弘 各氏に師事。卒業後、東京フィルハーモニー交響楽団に入団。1991年、NHK交響楽団に移籍。国際ロータリークラブのスカラシップを得てシュトゥットガルト演劇音楽大学に留学。H.ヴォルフ、H.ロイビン両氏に師事。1989年、2005年、I-T-G(国際トランペット会議)にゲストアーティストとして参加。2004年、2010年、リサイタルを開催。ソロCDを2枚リリース。2020年12月、N-craftsより【Brass Chronicle】をリリース。22年間活動したN響を辞め、2012年より東京藝術大学音楽学部准教授に就任。2019年より東京藝術大学音楽学部教授に就任。現在に至る。国立音楽大学、聖徳大学、各非常勤講師。埼玉県草加市文化協会 評議員。日本トランペット協会 常任理事。飛騨高山ヴィルトーゾオーケストラ顧問。Tokyo G Brass、N-crafts、各メンバー。



ファゴット
森 純一

東京フィルハーモニー交響楽団

岐阜県下呂市(小坂町)出身。15歳よりファゴットを始める。岐阜県立斐太高等学校卒業。武蔵野音楽大学音楽学部器楽科ファゴット専攻卒業。これまでファゴットを渡邊聖子、岡崎耕治、山畑馨、ジェラルド・コーリー、ミラン・トルコヴィッチの各氏に師事。オーケストラ活動の他、室内楽やソロでも、日本各地で活躍中。2001年、合併により東京フィルハーモニー交響楽団奏者となり今に至る。



渡辺 美穂
 1stバイオリン
 元 大阪フィル
 ハーモニー交響楽団
 コンサートマスター



栃本 三津子
 1stバイオリン
 東京フィル
 ハーモニー交響楽団



小泉 悠
 1stバイオリン
 名古屋フィル
 ハーモニー交響楽団



小玉 裕美
 1stバイオリン
 名古屋フィル
 ハーモニー交響楽団



伊東 翔太
 1stバイオリン
 東京都交響楽団



戸上 真里
 2ndバイオリン
 元 東京フィル 首席
 東京都立芸術大学
 准教授



山本 翔平
 2ndバイオリン
 東京都交響楽団
 副首席



小池 彩織
 2ndバイオリン
 東京フィル
 ハーモニー交響楽団
 ファオジュビラー



大槻 桃斗
 2ndバイオリン
 東京音楽大学卒業



新井 理穂
 2ndバイオリン
 コト布斯州立
 歌劇場管弦楽団



須田 祥子
 ヴイオラ
 東京フィル
 ハーモニー交響楽団
 首席



加藤 大輔
 ヴイオラ
 東京フィル
 ハーモニー交響楽団
 副首席



中 恵菜
 ヴイオラ
 新日本フィル
 ハーモニー交響楽団
 首席



栗林 衣李
 ヴイオラ
 東京藝術大学
 大学院音楽研究科
 修士課程修了



北口 大輔
 チェロ
 日本センチュリー
 交響楽団
 首席



吉岡 知広
 チェロ
 仙台フィル
 ハーモニー管弦楽団
 首席



福井 綾
 チェロ
 東京藝術大学
 器楽科卒業



黒木 岩寿
 コントラバス
 東京フィル
 ハーモニー交響楽団
 首席



高群 誠一
 コントラバス
 神奈川フィル
 ハーモニー交響楽団
 ファオジュビラー



斎藤 和志
 フルート
 東京フィル
 ハーモニー交響楽団
 首席



柳原 聡美
 フルート
 桐朋学園大学卒業、
 研究科修了



松岡 裕雅
 オーボエ
 日本フィル
 ハーモニー交響楽団
 副首席



佐藤 麻咲
 オーボエ
 元 東京フィル
 ハーモニー交響楽団
 委託契約首席奏者



サトー ミチヨ
 クラリネット
 東京都交響楽団
 首席



松元 香
 クラリネット
 パシフィックフィル
 ハーモニア東京



向後 崇雄
 ファゴット
 東京都交響楽団



西條 貴人
 ホルン
 東京都交響楽団
 首席



鈴木 優
 ホルン
 東京都交響楽団



星野 朱音
 トランペット
 蕨大フィル
 ハーモニア管弦楽団



古賀 慎治
 トロンボーン
 東京藝術大学
 教授



安久津 理子
 トロンボーン
 東京藝術大学卒業



藤田 恵輔
 トロンボーン
 東京フィル
 ハーモニー交響楽団



安藤 芳広
 ティンパニ
 東京都交響楽団
 首席